

浅野ラボ

浅野ラボでは、「授業とはどうあるべきか」と「当たり前と思っていることは、本当に当たり前なのか」に焦点をあててミーティングを重ねてきました。当日は、学校、授業は「こうあるべき」といった固定観念から脱却することをテーマにワークショップを開催しました。

前半は、「学校の役割」について思いつくままにグループで伝えたのち、教育に関する新聞記事から、画一的な指導について考えました。

後半は、4つの具体を、学校に「残す」と「残さない」に分けることを通して、学校にある当たり前が、目の前の子どもたちのためになっているのか、どのようなものであるべきなのかなどを話し合いました。

参加者からは、「今の学校がどう変わっていくことが子どもたちの未来につながるのか、もっともっと先生同士、何より子どもたちと対話していきたいと強く思えた。」という声がありました。

